

インドネシア人実
習生お手製の激辛
ソース SAMBAL
(サンバル)



11月に入りました。立冬も過ぎ、アジ研にも、冬の足音が日を追う毎に近づいてきています。朝のラジオ体操でも、「皆さん、体操の前に、上着を脱いでください」との、体操リーダーからの呼び掛けが、聞かれる季節になりました。

この時期から授業で呼び掛け始めるのが、「うがい・てあらい」です。私たち日本人にとっては、もはや冬の常識。これから空気が乾燥した日本の冬を初体験する皆さんにも、どうしても身に付けてもらいたい大切な生活習慣だと考えています。毎度毎度になりますが、健康あっての日本語学習です。実習生の皆さんが、体調を崩したり、風邪など引いたりせず、万全の体調で毎日の学習に取り組んでいけるよう、日本語講師・スタッフ一同、全力で生活をサポートしていきたいと思えます。

あじけんスコープ Vol.59

今月は、インドネシア人実習生のお弁当ランチを覗いてみましょう。お弁当と言っても、おかずとご飯を別々に持ってきて、食べる直前にお皿に盛り付ける食へのこだわりが感じられるインドネシアスタイル。あまりにも美味しそうなので、お言葉に甘えて、ご一緒させて頂くと、味付けは甘過ぎず、しょっぱ過ぎず、日本人の口にも合う、美味しい料理ばかりでした。ただ、付け合わせでお皿に盛るソース SAMBAL (サンバル) は、激辛！さすが暑い国の料理と思わせる一品でした。また、「郷に入れば郷に従え」と、私も人生初の「手掴み」食事を体験しました！ご飯は、硬めに炊いてあるので、手に取ってもベトベト感がありません。おかずを掴むと、手に料理の「旨み？」が付き、多少のヌルヌル感がありますが、そのまま口に運ぶことで、料理の味や旨みを、しっかり楽しめる、理にかなった食べ方であることを実感し、少しハマってしまいました。また、日本では常識のお箸やスプーンでの食べ方も、インドネシアの人達から見ると、無機質で、味気ない食べ方に見えるのかなーと、考えさせられる貴重な体験にもなりました。

お皿にご飯やおかずを盛り付ける実習生の皆さん



ご飯に主菜の OPOP (オポール: チキンソテー): 写真中央、副菜や激辛サンバルを盛り付けたランチプレート



右手を使って食事の実習生

今月の実習生

今月は、フィリピン人実習生の BIOY ARVIN JAMES (ジェームス)さんと、VISPERAS RICHARD (リチャード)さんの2人を紹介します。この2人、日本語講習の初日から、毎朝 7:30! に教室に現れて、まだ誰も来ていない教室で、日本語を勉強するのがルーティーン。定期テスト前などに、早朝当校する実習生はいませんが、毎朝欠かさず、7:30 ぴったり、登校する実習生は、これまで見たことがありません。その規則正しい生活振りに感心し、話を聞いてみると、「私たちは、毎晩 9 時に寝て、毎朝 5 時に起きます。それから、部屋を掃除して、お弁当を作って、朝ごはんを食べて、学校に来て、教室で勉強します。」と笑顔で答えてくれました。朝、7 時半には、既に頭のスイッチが入っている2人は、「朝活」の効果もあり、日本語力も、メキメキと上達しています。



BIOY ARVIN JAMES (ジェームス)さん

VISPERAS RICHARD (リチャード)さん

あじけん流日本語授業

今月は、本校のカリキュラムで頻繁に取り入れられている、学習者間のインフォメーションギャップを利用した会話練習の例をご紹介します。今回ご紹介する活動は、ベトナム人実習生と、中国人実習生の皆さんが、自分達の国の「結婚式」について情報を交換し合う活動です。インフォメーションギャップを利用した会話練習は、テーマの選定が、とても重要になってきます。母国の料理についてや、母国の祝日について等、様々なテーマがあるのですが、「結婚式」は、会話が最も盛り上がるテーマの1つです。

具体的な活動手順としては、先ずクラスを5～6のグループに分けます。その際に、①各グループの構成メンバーを多国籍にすること、②各グループにリーダーとなり会話をリードできるような実習生を配置すること③出来れば各グループに男女を混在させることの3つに配慮します。次に講師が、「新郎新婦」「披露宴」「衣装」「祝い金」「参加者」「新婚旅行」等の、話し合い活動に必要な新しい単語（主に名詞）を導入しながら、日本の結婚式について、紹介します（写真1）。その後、各グループに分かれての話し合いになるのですが、ここでは、話し合いのトピックを、・結婚式が多い季節・参加者の人数・費用・披露宴の料理・新郎新婦の衣装・披露宴ですること・新婚旅行の行き先と、7つに限定して提示することで、初級レベルの学習者でも円滑に会話が進められるように配慮するとがポイントになります。また、会話練習の最後には、各グループから任意の代表者に話し合いの内容をレポート発表してもらうことを予告しておく、実習生の皆さんのモチベーションが更に上がり、必至にメモを取りながら、話し合い活動に取り組むようになります。



写真1：日本の結婚式の様子を介绍する本校日本語講



写真2：結婚式について質問し合う中国・ベトナム人実習生

実習生の感想

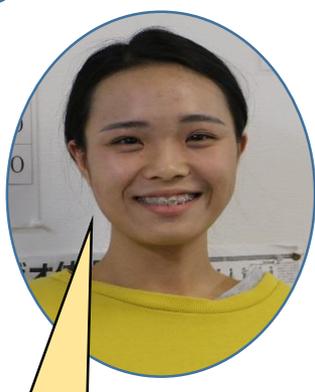


写真3：グループ内の話し合いの内容をレポートするグループリーダーのベトナム人実習生

ベトナムと中国の結婚式は似ていると思います。でも、ベトナムの結婚式は、300人來ます。人が多いです。凄いです。びっくりです。
中国人実習生
莫小雪（バクショウセツ）

中国は新郎が結婚式のお金を出します。男の人は大変ですね。ベトナムは2人でお金を出します。お金も中国はベトナムより高いと思います。
ベトナム人実習生
CHU ANH DUC(チュウ アン ドック)

